



東北学院大学

博物館年報

2022

Vol.14



INDEX

概要・組織	2
展示活動	3
普及教育活動	4
地域連携・博物館連携	4
資料調査・収集	4
大学教育支援	5
刊行物・広報	5
利用統計	6
運営	7
利用案内	8



概要

東北学院大学博物館は、文学部歴史学科をはじめとした本学の最前線の研究成果を一般に紹介するとともに、博物館学芸員の教育の場として活用することを目的に、2009年にオープンした。杜の都仙台のメインストリートの一つ愛宕上杉通りに面しており、市民に親しまれる大学博物館を目指している。

施設は鉄骨平屋建で、建物面積は約 300 m²である。展示室 (180 m²) のほか、収蔵庫、実習室、事務室、多目的トイレ等を有し、24 時間の空調、機械警備等によって貴重な資料等の管理環境を整備している。

展示の最大の特色は、教員と学生が寝食を共にしておこなうフィールドワークや、実物資料を扱いながら歴史を読み解くゼミ活動での成果などをもとに、学生たち自身が展示を考え、実施していく点にある。

2022 年度は、2020 年度から続く新型コロナウイルス感染症への対応のため年度当初は学外者に対する公開を原則として中止していたが、5 月 26 日より十分な感染対策を施した上で、2 年 2 ヶ月ぶりに一般公開を再開することができた。

組織 (2022 年度)

職員

館長	永田 英明	文学部歴史学科教授
学芸員	七海 雅人	文学部歴史学科教授
学芸員	金子 祥之	文学部歴史学科准教授
学芸員	佐藤 敏幸	嘱託職員／本学非常勤講師
事務職員	及川 純一	研究機関事務課係長(~2022.5)
	及川 明子	研究機関事務課 派遣職員(2022.6~)
学芸研究員	真柄 侑	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士後期課程
	横山 舞	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士後期課程
	石倉 蓮	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	大友 健太郎	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	金澤 日本	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	佐竹 由羽	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	福澤 光稀	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	楊 雪雁	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	熊谷 弑胡	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	熊谷 龍之介	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	木暮 遥奈	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程
	松田 進	大学院文学研究科 アジア文化史専攻博士前期課程

展示

企画展 EMAMITE～馬かける、願いもかける～

2022年3月22日（火）～2023年2月28日（火）

当館で所蔵する明治～昭和期の絵馬 35 点を、「走る」「食む」「装う」「連なる」といった描かれた馬の仕草や、描き手の様々な視点、さらにはひょうたん、剣、牛、船など「馬じゃない」絵馬なども含めて様々な視点から紹介しました。

コロナ禍に伴う入構制限により当初は原則学内限定の公開でしたが、5月26日より一般公開が再開され、多くの方々にご覧いただきました。展示コーナー内には見学者の方々が書いた紙の絵馬も飾られ、新旧様々な人々の「願い」に溢れた展示となりました。



企画展 大履物展～暮らしの中の足もと

2023年3月14日～（2023年度も継続開催）

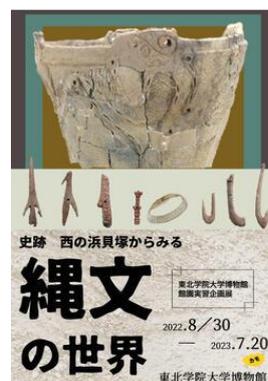
当館所蔵の東北各地の資料 32 点、および文学部歴史学科金子ゼミの活動で収集した福島県檜枝岐村の資料 6 点、合計 38 点の「はきもの」資料を、それを履きかえる場面での人々の意識に着目して紹介しました。また 2022 年度の「博物館情報・メディア論」（担当：永田英明）の授業で作成した、展示資料に関するショート・ムービーをあわせて公開しました。



博物館館園実習展示 史跡西の浜貝塚からみる縄文の世界

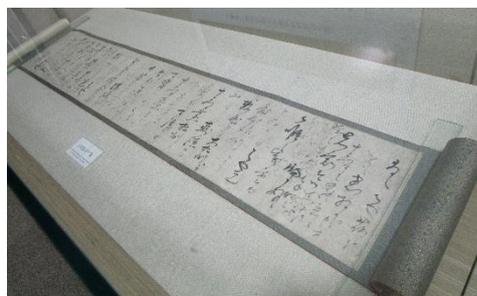
2022年8月30日～（2023年度も継続開催）

2022年度の館園実習における課題として開催しました。東日本を代表する縄文遺跡の一つである国指定史跡「西の浜貝塚」（松島町）からの出土品をもとに、松島湾の縄文人の生活を紹介します。縄文時代の土器や石の皿のほか、「骨角器」と呼ばれる骨から作られた釣り針や装飾品、信仰の道具として使われた土偶や石棒など多数展示しました。



新収資料展 慶長 13 年伊達政宗書状の公開

2022年度本学で新たに購入した、慶長 13 年（1608）正月十日付の伊達政宗書状を一般公開しました。書状は江戸幕府第 2 代將軍秀忠の側近青山図書助成重にあてて政宗が出したもので、仙台へ帰国するための暇を貰えるよう秀忠に上申して欲しいと依頼したものです。



ゼミ活動展

日本中世史ゼミ（七海）：雄島海底板碑群の展示パネル更新

日本古代史ゼミ（永田）：「木簡が語るいにしへの古代」展の更新（多賀城城下木簡の展示）

考古学ゼミ（辻）：「古墳をあるく」展示（南相馬市勸請内古墳 ほか）

普及教育活動

ワークショップ等の開催

①2022年度大学祭ワークショップ：ワークショップの実施

- ・古文書の折り方体験 参加者2名
- ・勾玉づくり体験 参加者20名

②東北学院大学史料愛好会ワークショップ：

西村家文書の整理と読解

③被災歴史資料の取り扱いに関する研修会

2022年12月8日 東北大学災害科学国際研究所にて 参加者6名

団体見学者等への展示解説 5件（別表参照）

中学生職場体験の受け入れ 4件（別表参照）

地域連携・博物館連携

館蔵資料の他機関への貸し出し展示 2件

多賀城市埋蔵文化財調査センター企画展「多賀城祈りとまじないの世界」

（2022年10月7日（金曜日）～12月18日（日曜日）

貸出資料：多賀城市市川橋遺跡出土墨書人面土器 1点

仙台宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)事業

SMMA研修会「仙台文学館 特別展「山内ジョージ 文字絵の世界」展示見学および情報交換会」

（2022年12月8日、会場：仙台文学館）への参加。

資料調査・保存

資料の新規収集・調査

① 郷土史関係古写真の収集

仙台市内の各所を撮影した写真を収めたアルバム（1冊）を購入した。

② 仙台市内河原町の商家「西村家」の資料調査

2021年度以降実施している「西村商店」の経営文書（「西村家文書」）の調査・整理作業を、東北学院大学史料愛好会の協力の下でおこなった。また同じく西村家が所蔵する生活用具（「西村家関連資料」）に関する調査・整理作業を、歴史学科民俗学ゼミ（政岡教授）の全面的な協力のもとで授業の一環として実施した。資料は2023年度に正式に博物館に受け入れた。

③ 一関藩の家老境澤家旧蔵の刀二振、脇差一振の寄贈受け入れ

本学東北文化研究所で「境澤家文書」を寄託保管している縁から、境澤家の御子孫から寄贈の申出があり、2022年9月に正式な寄贈を受けた。

収蔵庫および保管資料の点検・調査

①収蔵庫および6号館地下資料室保管資料の整理作業・目録整備をおこなった。

②収蔵庫のくん蒸作業 2023年3月に実施した。

大学教育支援

大学院生の学芸員教育(学芸研究員制度)

大学院文学研究科アジア文化史専攻の大学院生合計 12 名を「学芸研究員」として雇用し、学芸員実務経験の習得の機会を提供した。

学芸員課程教育への協力

「博物館実習Ⅰ」「博物館情報・メディア論」の履修学生を対象に、博物館を活用した授業等を実施した(別表参照)。

博物館館園実習の実施

「博物館実習Ⅲ」として行われる博物館館園実習の一部を、下記の要領で受入れ実施した。

受入学生数：31 名

日程 1 班：8/4・5・6・8・9 日 2 班：8/11・12・13・15・16 日
3 班：8/18・19・20・22・23 日 4 班：8/25・26・27・29・30 日
5 班：2023 年 1/19・20・21・23・24 日

成果展示：『史跡西の浜貝塚にみる縄文の世界』（8月4日～8月30日 前掲）

学部教育への協力

文学部歴史学科の以下のゼミにおける学習活動の一環として、博物館の資料調査やゼミ活動の成果発表展示の機会を提供した。(歴史学科 永田ゼミ、七海ゼミ、菊池ゼミ、金子ゼミ、政岡ゼミ)

刊行物・広報

オリジナルホームページ(<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum/>)の更新

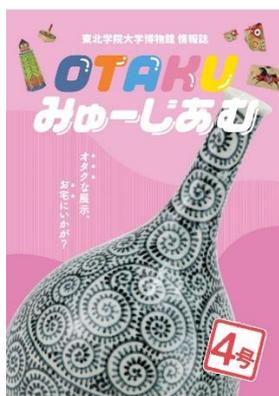
ツイッターによる情報発信

『KOREMITE』vol.8 の発行(2023 年 3 月)

- ・企画展「KOREMITE vol.8」の展示図録として、学芸研究員が中心となり企画・執筆した。

情報誌『OTAKU みゅーじあむ』の編集・発行

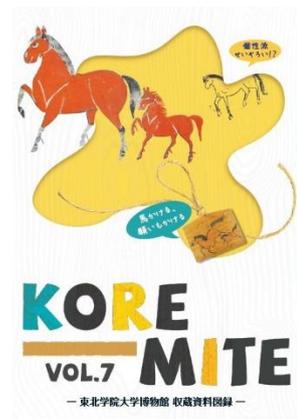
- ・第 4 号・第 5 号を発行し、市内公共施設や市内小中学校、県内高等学校等に送付した。
- ・博物館オリジナルホームページに掲載



OTAKU ミュージアム vol.4



OTAKU ミュージアム vol.5



KOREMITE vol.7

利用統計

東北学院大学博物館入館者数一覧 2022年度 (授業での利用を除く)

月	開館日数	有料入館者数	無料入館者数	小計	開館からの延人数
4	26	0	0	0	17,100
5	26	1	117	118	17,218
6	26	16	111	127	17,345
7	25	11	123	134	17,479
8	21	15	43	58	17,537
9	23	10	64	74	17,611
10	26	11	93	104	17,715
11	24	28	36	64	17,779
12	24	13	28	41	17,820
1	21	11	13	24	17,844
2	19	12	5	17	17,861
3	21	16	37	53	17,914
合計	282	144	670	814	17,914

無料開館日入館者数

創立記念日 5月15日(水)	—
後援会総会 5月21日(土)	100名
夏のオープンキャンパス 7月30日(土)	88名
夏のオープンキャンパス 8月27日(土)	26名
大学祭 10月12日(土)～23日(日)	62名
東北文化の日 10月29日(土)	3名
公開クリスマス 12月16日(土)	—
卒業式 2023年3月23日(木)	9名

※卒業式 3月24日(火)は 中止

館蔵資料の利用 6件

申請者	利用資料	利用種別
(株)MdN コーポレーション	市川橋遺跡出土墨書人面土器	出版物掲載
武蔵野美術大学出版局	ムカデ絵馬	出版物掲載
多賀城市教育委員会	市川橋遺跡出土墨書人面土器	出版物掲載／展示のため借用
いわき市勿来関文学歴史館	猪狩家文書	閲覧／撮影／展示のための借用
八木書展出版部	市川橋遺跡出土墨書人面土器	出版物掲載
株式会社河合出版	「山田皓司コレクション」絵葉書2点	出版物掲載

施設見学の中学・高校一覧 (5件)

学校名	月 日	人数
寿都町立寿都中学校(北海道)	5月19日	16
東北学院榴ヶ岡高校	6月24日	88
新庄市立新庄中学校	9月30日	33
東成瀬村村立東成瀬中学校(秋田)	10月18日	16
舟形町立舟形中学校(山形)	11月	5

職場体験の受け入れ (4件)

学校名	月 日	人数
仙台市青陵中等教育学校	10月26日	2
仙台市郡山中学校	11月1日	2
仙台市南小泉中学校	11月10日	2
仙台市富沢中学校	11月15日	2

授業等での博物館利用件数・人数

月	授業数	人数	月	授業数	人数
4	7	86	10	10	111
5	1	10	11	2	20
6	14	146	12	11	119
7	15	163	1	4	14
8	0	0	2	0	0
9	11	123	3	0	0
計	75	819			

運営

東北学院大学博物館運営委員会

博物館の運営に関する重要事項を審議するため、東北学院大学博物館運営委員会を開催した。

第1回委員会 2022年6月9日(木)開催 (Zoom ミーティングによる開催)

報告事項 1) 2021年度事業報告

2) 2021年度決算および2022年度予算報告

3) 2022年度学芸研究員採用について

審議事項 1) 2022年度事業活動計画(案)について

2) 2022年度博物館館園実習概要(案)について

3) 2022年度無料開館日(案)について

4) その他

・東北学院大学博物館の将来構想と課題について

第2回委員会、2022年12月1日(木)開催 (Zoom ミーティングによる開催)

報告事項 1) 2022年度事業の実施状況について

2) 2022年度利用状況報告

3) 2022年度博物館館園実習報告

4) 博物館施設の整備について

5) その他

審議事項 1) 2023年度事業計画(案)について

2) 2023年度予算(案)について

3) 東北学院大学博物館運営委員会規程の改正について

4) 前回議事録の確認

5) その他

2022年度 博物館運営委員会委員名簿 (2023年3月現在)

1. 博物館長 永田英明 (文学部歴史学科教授)
2. 文学部長 紺野祐 (文学部教育学科教授)
3. 学務部長 加藤健二 (教養学部人間科学科教授)
4. 図書館長 松村尚彦 (経営学部経営学科教授)
5. 総務部長 伊藤寿隆
6. 歴史学科長 河西晃祐 (文学部歴史学科教授)
7. 経済学部 黒坂愛衣 (経済学部共生社会経済学科教授)
8. 工学部 櫻井一弥 (工学部環境建設工学科教授)
9. 教養学部 巖谷睦月 (教養学部言語文化学科准教授)

利用案内

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：日曜日、祝日・休日、大学の定める休業日

入館料：一般200円（減免措置あり）

※学校法人東北学院の役員・教職員・学生・生徒・園児・旧役員・旧教職員は無料。大学同窓生は、ホームcoming・デー等の館長の定める行事日は無料。未就学児、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校もしくは高等専門学校の児童、生徒又は学生、65歳以上の方、障害者基本法に定める障害者と介護者1名は無料。

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

電話番号：022-264-6920

FAX：022-264-6917

交通案内



2022年度 東北学院大学博物館年報 vol.14

編集・発行 東北学院大学博物館

発行日 2023年12月1日